

各 位

上場会社名	日本出版貿易株式会社
代表者	代表取締役社長 大野 利夫
(コード番号)	8072)
問合せ先責任者	取締役事業管理部本部長 天内 健一
(TEL)	03-3292-3751)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年2月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,743	60	8	△141	△23.58
今回発表予想(B)	8,413	36	△4	13	2.19
増減額(B-A)	△330	△24	△12	154	
増減率(%)	△3.8	△40.0	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	9,096	165	82	70	11.83

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,445	48	5	△144	△24.08
今回発表予想(B)	8,104	4	△32	△13	△2.28
増減額(B-A)	△341	△44	△37	131	
増減率(%)	△4.0	△91.7	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	8,786	132	53	34	5.74

#### 修正の理由

個別における売上高のうち出版物につきましては輸出売上高が海外の景気後退の影響を受け減少する見込みです。一方、洋書の国内販売のうち外国雑誌及びペーパーバックは堅調に推移しましたが、英語教科書の売上高が伸張せず出版物全体としては予想を下回る見込みです。輸入音楽関連ソフトの売上高は音楽配信・洋楽離れ等が進み減少する見込みです。また、音楽ソフトの輸出売上高は米国の消費低迷と急激な円高の影響を受け減少する見込みです。以上の結果、個別の売上高合計は予想を3億4千1百万円下回り81億4百万円となる見込みです。利益面におきましては売上減による減益と、洋書の同業他社が経営破綻したため当社がその事業の受皿になるべく人員採用をはじめとした初期投資等を行ったため営業費が増加し、営業利益は予想を下回り4百万円となる見込みです。また、経常損益は営業外損益を加減算し3千2百万円の経常損失となる見込みです。当期純損益は特別利益に貸倒引当金戻入額1千5百万円を計上する予定ですので1千3百万円の当期純損失となる見込みです。当期純損益における予想との差異は、3月に有価証券を取得したことにより簿価が下がり平成20年12月30日にお知らせした投資有価証券評価損の大部分について、会計上の評価減の対象外となったため計上の必要がなくなったことによるものであります。

連結においては、大部分が個別の業績に連動しますが、連結子会社3社の業績は堅調に推移する見込みです。また、米国の子会社 JPT AMERICA, INC. 内に設立した「JAPAN LANGUAGE CENTER」の売上は順調に推移しております。従いまして、売上高84億1千3百万円、営業利益3千6百万円、経常損失4百万円、当期純利益1千3百万円となる見込みです。

以上